

第2回 避難訓練

DMAT 経験者や災害支援ナースを中心とした南芦屋浜病院災害支援チーム指導の下、令和 5 年 10 月 21 日（土）に医療法人 昭圭会 第 2 回避難訓練を実施いたしました。今回は震度 5、マグニチュード 6.9 の地震が発生し、建物の崩壊の恐れがあるとの想定で職員駐車場まで避難を行いました。その後、駐車場にてトリアージも実施いたしました。

訓練開始

地震発生

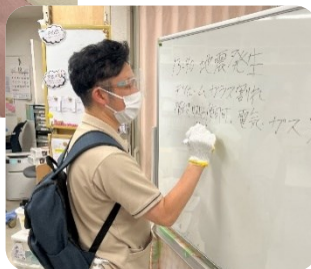


地震発生のアナウンスにより、訓練が開始。まずは各自身体を低くして揺れが収まるまで待機します。

揺れが収まり次第詰所に集合し、災害 BOX から必要なものを装備した後、建物の状況や負傷した利用者様がないか分かれて確認に行きます。



災害 BOX



利用者様をデイルームに集めた後、被害状況をまとめて対策本部に報告し、今後の指示を仰ぎます。



災害対策本部

避難開始

建物の倒壊の恐れがあるので、対策本部を職員駐車場へ移し、避難場所の設営を開始。

設営後、1階から順番に避難を開始します。



さくらの園も避難開始！



避難途中で利用者様が階段から転落して、動けなくなってしまった場面を想定しての避難訓練を実施。

本部へ連絡し駆け付けたスタッフと共に、シートで負傷者を運び出します。



突然の雨に慌てる場面もありましたが、予期せぬ事態にも災害支援チームの指示の下、冷静に対応することができました。

雨除けにブルーシートを張っています。



物資運搬

避難が終了した後、理事長と事務長の指示の下、トリアージと物資の運搬を実施。

院内にある非常食や医薬品などの物資をバケツリレー形式で運搬していきます。



トリアージ

トリアージとは…

大事故や大災害などで多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために傷病者の治療優先順位を決定することを言います。



理事長、院長が中心となってトリアージを実施していきます。

治療優先順位に合わせ、グリーン・イエロー・レッドのゾーンに傷病者を移動させます。



最後に

このような訓練が開催できたのも、利用者様のご理解があってこそだと思います。職員一同、災害は起こってほしくないものの、万一の際には訓練で培った機動力でみなさんをお守りできるよう、日々精進してまいります。皆様のご協力に感謝致します。